

小倉山通信

平成28年1月28日
No.37

全校生徒のスケッチが戻ってきました

1月28日(木)で、平福美術館で開催されていた第38回児童・生徒県南美術展が終了しましたが、年末年始と一緒に展示されていた昨年の秋に全校スケッチ大会で描かれた生徒のスケッチが、冬休みの終わりとともに、戻ってきました。戻ってきてすぐに、1・2年生の美術部員が、各場所に展示してくれました。

それぞれのスケッチは2年生が職員室前の階段踊り場に、1年生が西階段踊り場に、3年生が中央階段踊り場に展示されています。

この絵を見ると、秋の紅葉した風景がよみがえってきます。



昨年、展示する前に3年生の美術の時間に、今年度のスケッチを額にはめる作業の場に居合わせました。すると、絵を額縁に入れていた生徒が「1年生、2年生、3年生と自分の絵を見ると、成長しているなあ。」と3年分のスケッチを見比べて、感想を漏らしていました。3年生のスケッチの裏には、1年生、2年生のスケッチも一緒に入っています。卒業したら、額を購入し、是非、中学校時代の3枚の絵として家のどこかに飾って眺めてほしいと思います。

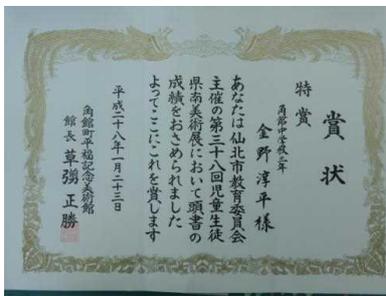
本校を訪問の皆様も、是非踊り場で生徒の絵を

ご鑑賞ください。お待ちしております。

1月23日(土)には、角館町の平福美術館にて標記の表彰式がありました。

本校からは、「特賞 平福美術館長賞」に輝いた金野淳平さんが出席しました。

表彰式では、審査員の先生から、一人一人の作品が取り上げられ、どこの部分が印象的だったか、という個別の講評を行ってくれたそうです。また、20年前に受賞した方が現在どのような人生を送られているか、というサプライズの催し物があり、その方の現在を知ることもできたそうです。金野さんは立派な賞状とトロフィーをいただきましたので紹介します。



公立高校前期選抜学力検査と面接

1月29日(金)平成28年度公立高校前期選抜学力検査があります。3年生の前期を志望している生徒はもちろんのこと、他の生徒も、昼休みや放課後に、本校の面接官(学級担任や学年主任等)と面接の練習を毎日行っています。

面接が高校入試に取り入れられてから相当な年数が経ちます。先輩方の実際に面接に臨んだ実例集等もありますが、重要なのはパニックにならずに落ち着いて自分の考えを述べる事ができる、です。

そこで、これからの面接練習のために、どんな内容について聞かれるのか、予想される内容を考えてみます。

- 学校名、受験番号、名前。
- 志願理由。
- 入学後に頑張りたいこと。
- 高校卒業後の進路について。
- 将来の夢。
- 中学校生活で一番印象に残った思い出。
- 担任の先生のお名前とどんな先生か。
- 好きな教科、嫌いな教科、その理由。
- 部活動で印象に残っていること。
- 自分の短所、長所。
- 最近読んだ本で感動したことは。その感想を。
- 友達とのつきあいで気を付けていることは。
- 最近のニュースで気になっていることと理由。
- ゴミ問題についてどう思うか。
- 地球温暖化についてどう思うか。

私との面接で、「中学校生活で一番印象に残った思い出ベスト1」は、合唱コンクールについてでした。「ゴールデンハーモニー賞は取れなかったけれど、学級が一つになって初めて一生懸命に取り組むことができました」という感想の中に、1・2年生ではできなかったことが、3年生ではできる、そして、できた、その喜びが大きかったです。

中学生が新聞を読むというのは、今時の中学生にとっては当たり前になっているかもしれませんが。社会や周囲に常に目を向けて、どんな質問が来てもびくともしない、そういう気持ちをもってほしいです。

紅駿サミット

1月28日(木)、2年生が紅駿サミットを開催しました。

雪降る中で1階ホールに2年生全員が集い、「スキー教室で楽しかったこと、そして第2回目のスキー教室に望むこと」と題して、代表の女子4人からスピーチがありました。



代表者のスピーチの内容は、次の通りでした。

- たくさん滑ることができた。
- 天気が良くて気持ちがよかった。
- もっと上手に滑られるように次は頑張りたい。
- リフトに乗って、友達とのおしゃべりが楽しかった。
- 次は、回数をもっと多く滑りたい。

感想発表は男子4人からで、1回目が無事に終わって、楽しく滑ることができたので2回目も楽しく滑られるように、そしてたくさん滑ることができるように、と思いました、とありました。

最後に生徒会執行部から、YDK（やれば、できる、角中生）を年度末に再び想起して奮闘すること、そしてインフルエンザが流行しているので留意してください、とありました。

紅駿サミットは、今回で2年生の生徒全員が、お話しました。2月は、年度末でまとめの時期でもありますので、これから3～4回、更に学年集会を続けていくということでした。

学年生徒会の創意工夫に期待します。

青嶺プロジェクト

1月28日(木)、3年生が青嶺プロジェクトを開催しました。テーマは、「入試に向けて頑張っていること」でした。

○A組 伊藤花さん

私が今入試に向けて頑張っていることは苦手教科の克服です。私は理科の点数が余り伸びていなく、用語を覚えるのも苦手なので、理科を得意になれるようにしたいです。それから英語は得意教科なのですが、これも余り伸びていないので、次のテストでは、1点でも多くとれるように、どの教科も頑張りたいです。

○B組 草薙拓也さん

私が今一生懸命頑張っているのは勉強です。特に、テストが終わってからの間違い直しを行っています。得意教科も不得意教科もどちらにも取り組んでいます。次のテストは入試につながるテストなので、このテストで調子をつけて本番のテストでも良い成績を目指したいです。

○C組 門脇直紀さん

僕は理科が苦手教科です。理科は用語を覚えるのが点数につながるの、基本的な用語を覚えていきたいです。得意教科は数学です。数学は、難しい文章問題をしっかり解いていきたいです。

○D組 小野 春奈さん

私が入試に向けて取り組んでいることは、復習に力を入れるということです。部活動を行っていた時は、疲れて家に帰ってきてほとんど勉強をすることができませんでした。でも、部活動を終えた今は復習することを習慣づけてきました。部活動後に成績が上がってきたので良かったです。入試まで気を抜かずしっかり取り組んでいきたいです。



感想発表の二人は次のようにお話してくれました。

○A組 大和田凜さん

私は前期で明日試験です。今まで部活動が終わってから苦手教科を克服できるように勉強してきました。明日はこれまでの勉強を出して、面接でもしっかり言えるようにしたいと思います。

○B組 佐々木蓮さん

僕は皆さんの発表を聞いて、皆さんが苦手な教科好きな教科などいろいろあって、それに対応しながら勉強していることが素晴らしいなあと思いました。僕はまだ勉強の休憩中にゲームをしてしまうので、ゲームは母に預けてこれからはできるだけやらないように、頑張りたいと思います。

集会が終わってから、昨年東京への修学旅行で、副主任であった小笠原直子先生が、学問の神様である菅原道真公を祀った湯島天神から生徒全員に合格祈願に向けての鉛筆を買ってきていただいたので、直子先生が在職されている学校の方角に向かって全員で「ありがとうございます。」を言いました。この鉛筆に皆さんの思いを込めて、残された時間、勉学に励んでほしいと思います。